
天の虫

じかん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天の虫

【Nコード】

N7360V

【作者名】

じかん

【あらすじ】

魔女に虫にされた、アシスタントの物語です。自サイトにも掲載しています。

あなたは虫で十分ね。

少しミスをしただけで不機嫌になった魔女は、そう云うといなくなり、アシスタントの

彼は虫にされ森に置き去りにされた。いつもの魔女らしくはないと彼は思った。

どうせ虫ならば、とんぼか、蜂にしてくればいいのに。そうなら空中浮遊ができる

のに、実にすごい能力だが、虫ではとんぼと、蜂しか知らない。鳥にもいるが、とんぼ

や蜂ほど見事ではない。これでは何の虫かも分らん。魔女のけち。

彼は木に登り、よい

しょ、やつぽー。……ホーホケキョ ケキョケキョ。うぐいすさんがいらっしや

る。こんにちは。虫です。よろしく願います。

順応性豊かな彼は、飛ぶコツもすぐにつかんだが、空中浮遊は出来なかった。でも、飛ぶ

事が出来たので、彼はよしとした。それから、水に強い事も分った。飛ぶのも楽しい

が、水に潜るのも面白い。中でも滝下りは心地良くて、滝つぼでかき回されるのが快感

だ。空を飛ぶのとは味わいの違う楽しみがある。

友達も出来て気ままに過ごして、そして、自然を満悦していた。虫も悪くない。

魔男に成れないのは正直残念だった。しかし、彼は大空をらせん状

に優雅に舞ってい
る。そして遠のく彼の想いは満更でもなく、そのまま逝ってしまっ
た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7360v/>

天の虫

2011年10月8日20時11分発行